

第2章 計画地及びその周辺地域の 概況並びに環境の特性

第2章 計画地及びその周辺地域の概況並びに環境の特性

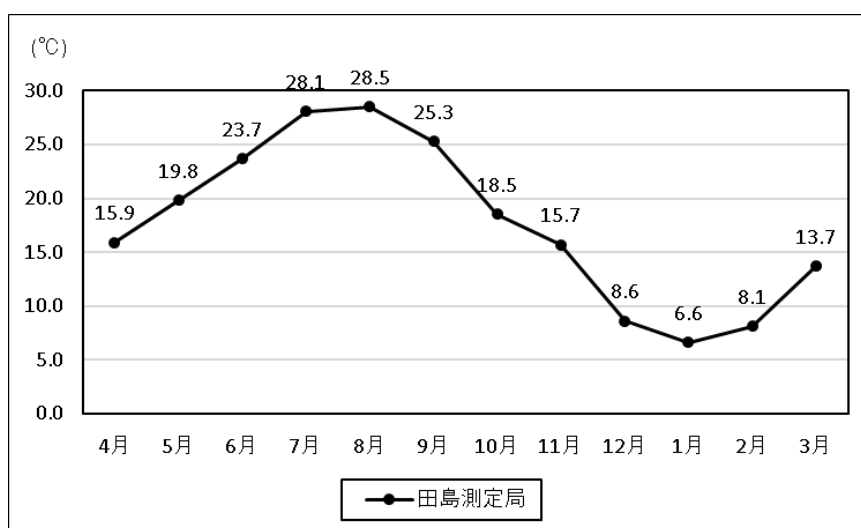
2.1 計画地及びその周辺地域の概況

2.1.1 気象の状況

(1) 気温

計画地周辺の一般環境大気測定局（以下「一般局」という。）である田島測定局における令和4年度の月別平均気温は、図2.1-1に示すとおりである（測定局の位置は、図2.1-3を参照）。

月別平均気温が最も高いのは8月、最も低いのは1月であり、年間平均気温は17.8℃である。



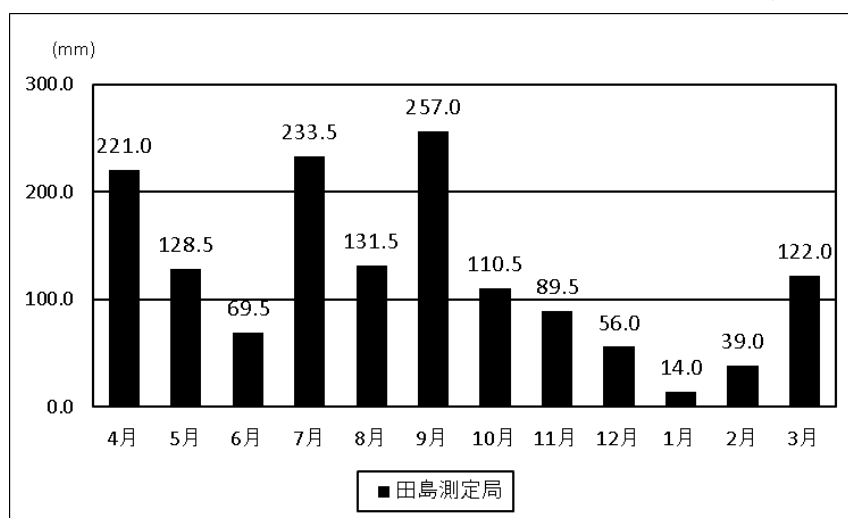
出典：「川崎市大気環境情報」（令和5年9月閲覧、川崎市HP）

図2.1-1 月別平均気温（令和4年度）

(2) 降水量

計画地周辺の一般局である田島測定局における令和4年度の月別降水量は、図2.1-2に示すとおりである（測定局の位置は、図2.1-3を参照）。

月別降水量は14.0mm～257.0mmで推移しており、年間降水量は1,472.0mmである。



出典：「川崎市大気環境情報」（令和5年9月閲覧、川崎市HP）

図2.1-2 月別降水量（令和4年度）

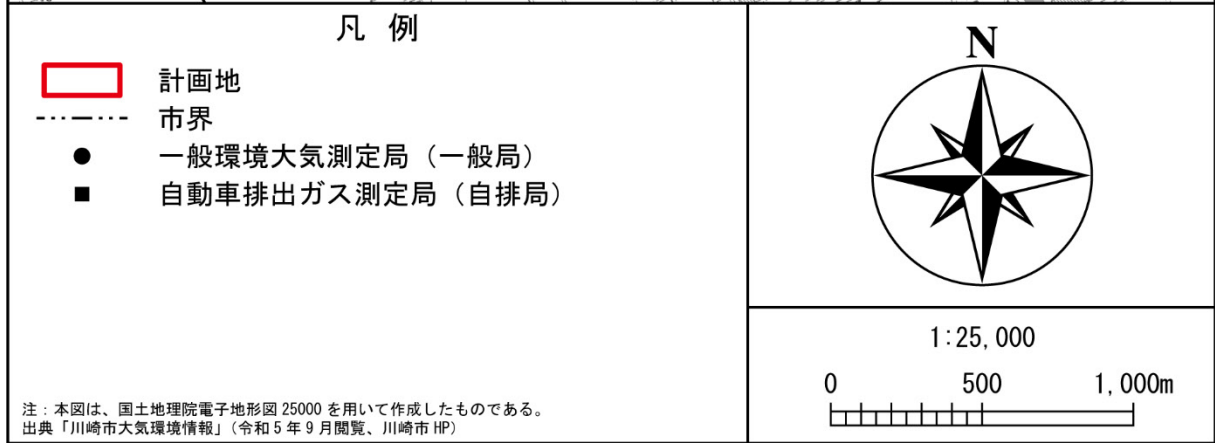
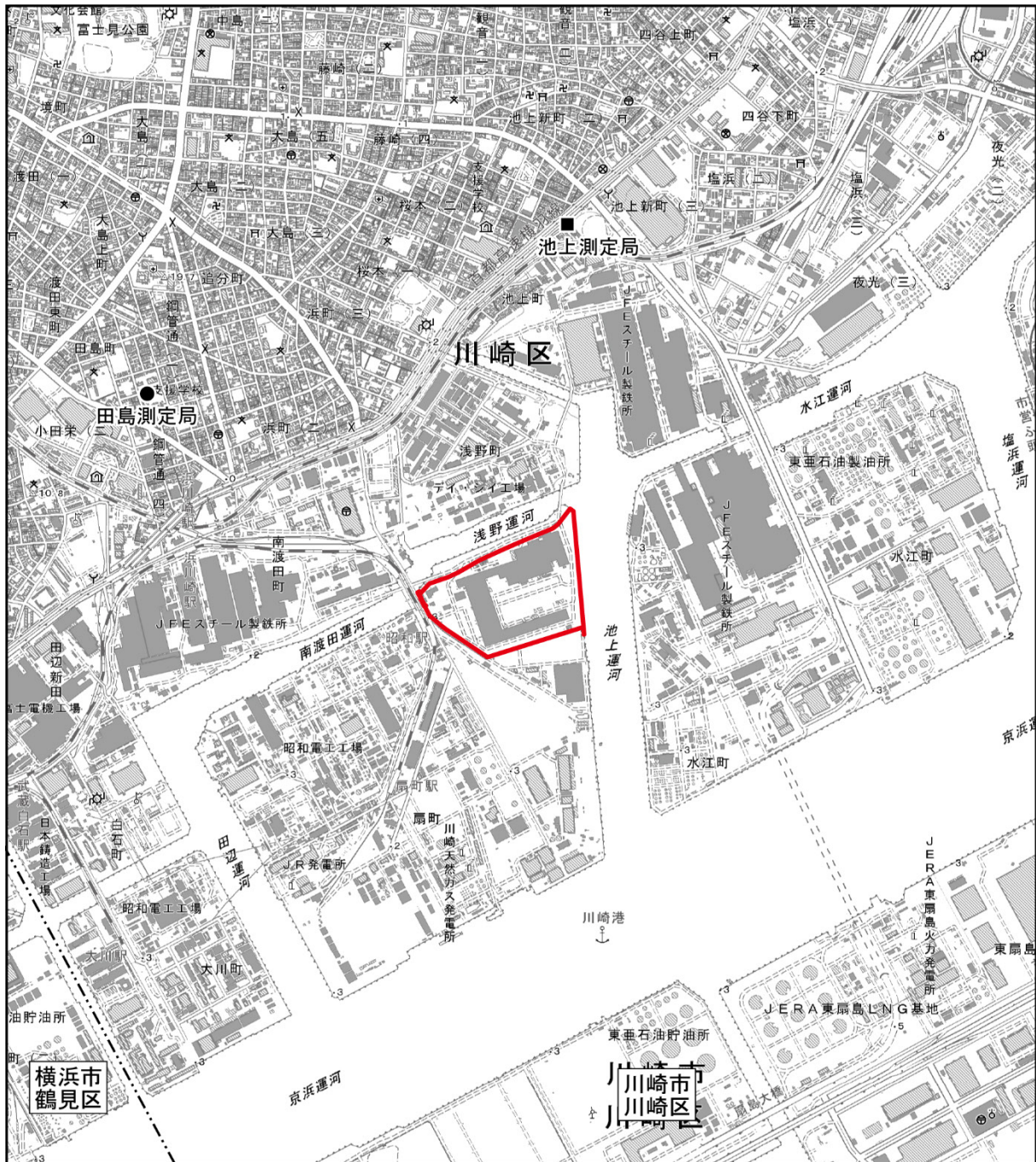


図 2.1-3 計画地周辺の大気汚染常時監視測定局の位置

(3) 風向・風速

田島測定局における令和4年度の月別最多風向及び月別平均風速は表2.1-1に、年間風配図及び風向別平均風速は図2.1-4に示すとおりである。

年間平均風速は1.1m/sであり、年間最多風向は北北東であり、5月及び7～8月に南寄りの風向が卓越する傾向がみられる。

表 2.1-1 最多風向及び平均風速（令和4年度）

| 年月 | | 田島測定局 | | |
|------|-----|-------|---------|------------|
| | | 最多風向 | 出現率 (%) | 平均風速 (m/s) |
| 令和4年 | 4月 | 北北東 | 13.8 | 1.2 |
| | 5月 | 南 | 14.2 | 1.1 |
| | 6月 | 北北東 | 13.5 | 1.3 |
| | 7月 | 南 | 23.0 | 1.3 |
| | 8月 | 南 | 19.2 | 1.4 |
| | 9月 | 北東 | 20.7 | 1.3 |
| | 10月 | 北北東 | 21.5 | 1.1 |
| | 11月 | 北北東 | 16.9 | 0.9 |
| | 12月 | 西南西 | 19.4 | 0.9 |
| 令和5年 | 1月 | 北北東 | 14.4 | 0.9 |
| | 2月 | 北北東 | 21.7 | 1.2 |
| | 3月 | 北北東 | 16.3 | 1.1 |
| 年間 | | 北北東 | 14.5 | 1.1 |

注：1. 最多風向が Calm (0.4m/s 以下) の際は、次点を掲載した。

注：2. 出現率は、Calm の出現率は無視し、16 方向の出現率の合計=100%で計算した。

注：3. 平均風速は、当月・当年通じての値で、Calm の時の風速も計算に入れている。

出典：「川崎市大気環境情報」（令和5年9月閲覧、川崎市HP）

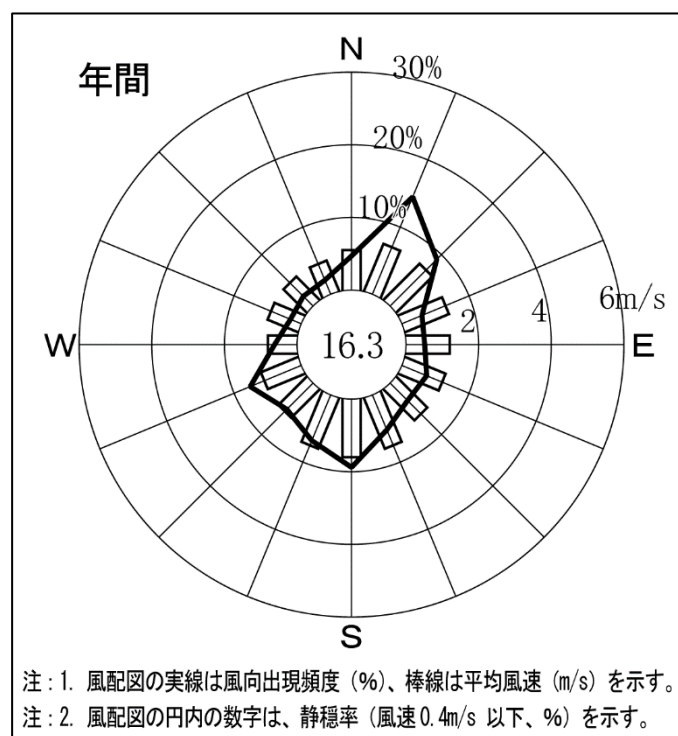


図 2.1-4 田島測定局における年間風配図（令和4年度）

2.1.2 地象の状況

計画地は川崎臨海部の扇町地区にあり周囲を運河に囲まれている。

計画地内は平地で、標高（T.P.※）は約2～4m程度である。

計画地及びその周辺の表層地質は、人工的に埋め立てられた埋め立て土である。

※T.P.：東京湾平均海面（地表面の海面からの高さを表す場合の基準海面）

出典：「横浜・東京西南部・東京東南部・木更津表層地質図」（平成3年3月、神奈川県）

2.1.3 水象の状況

(1) 河川及び地下水等の状況

計画地周辺の海域及び地下水の調査地点は、図2.1-5に示すとおりである。

計画地周辺には主だった河川は流れていない。

計画地及びその隣接地域に関しては、公共下水道台帳に公表されている下水道はない。

出典：「下水道公共下水道台帳」（令和5年6月閲覧、川崎市HP）

計画地周辺の地下水位は、計画地の西側約1.1kmの渡田観測所（川崎区鋼管通4-17-1）、北西側約1.3kmの田島観測所（川崎区鋼管通2-3-7）及び北東側約1.5kmの観音川観測所（川崎区塩浜2-24）の3か所でおこなわれており、令和3年度の年平均水位（井戸の地表から水面までの深さ）は、渡田観測所が-2.14m、田島観測所が-0.65m、観音川観測所が-1.41mである。

出典：「令和3年度水質年報」（令和5年3月、川崎市）

(2) 浸水等の被害

計画地の位置する川崎区の平成30～令和4年度の住家浸水被害発生状況は、表2.1-2に示すとおりである。

令和元年度は台風第19号等の災害が川崎市に甚大な被害をもたらした。

また、計画地は海域に埋め立てられた土地のため、多摩川水系及び鶴見川水系の洪水浸水想定区域とはされていない。

出典：「洪水ハザードマップ（川崎区）」（令和5年2月更新、川崎市HP）

表2.1-2 住家浸水被害発生状況（平成30～令和4年度）

| 年度 | | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
|-----|-------|-------|------|------|------|------|
| 川崎区 | 床上（棟） | 0 | 83 | 0 | 0 | 0 |
| | 床下（棟） | 0 | 29 | 0 | 0 | 0 |

注：令和元年度については、発行済みの罹災証明書をもとに集計したため、罹災証明書の件数単位。

出典：「令和4年度 川崎市の災害概要」（令和5年7月、川崎市）

(3) 海象の状況

川崎港の潮位の観測は千鳥町検潮所でおこなわれており、検潮所の位置及び潮位図は、図2.1-5に示すとおりである。

計画地周辺の運河の水深は、計画地北側の浅野運河が-2～-6m、計画地東側の池上運河が-8～-12m、京浜運河が-2～-12m、南渡田運河が-3～-7m、田辺運河が-5～-10mとなっている。

出典：「川崎港港湾計画資料（その1）」（平成26年11月、川崎市）

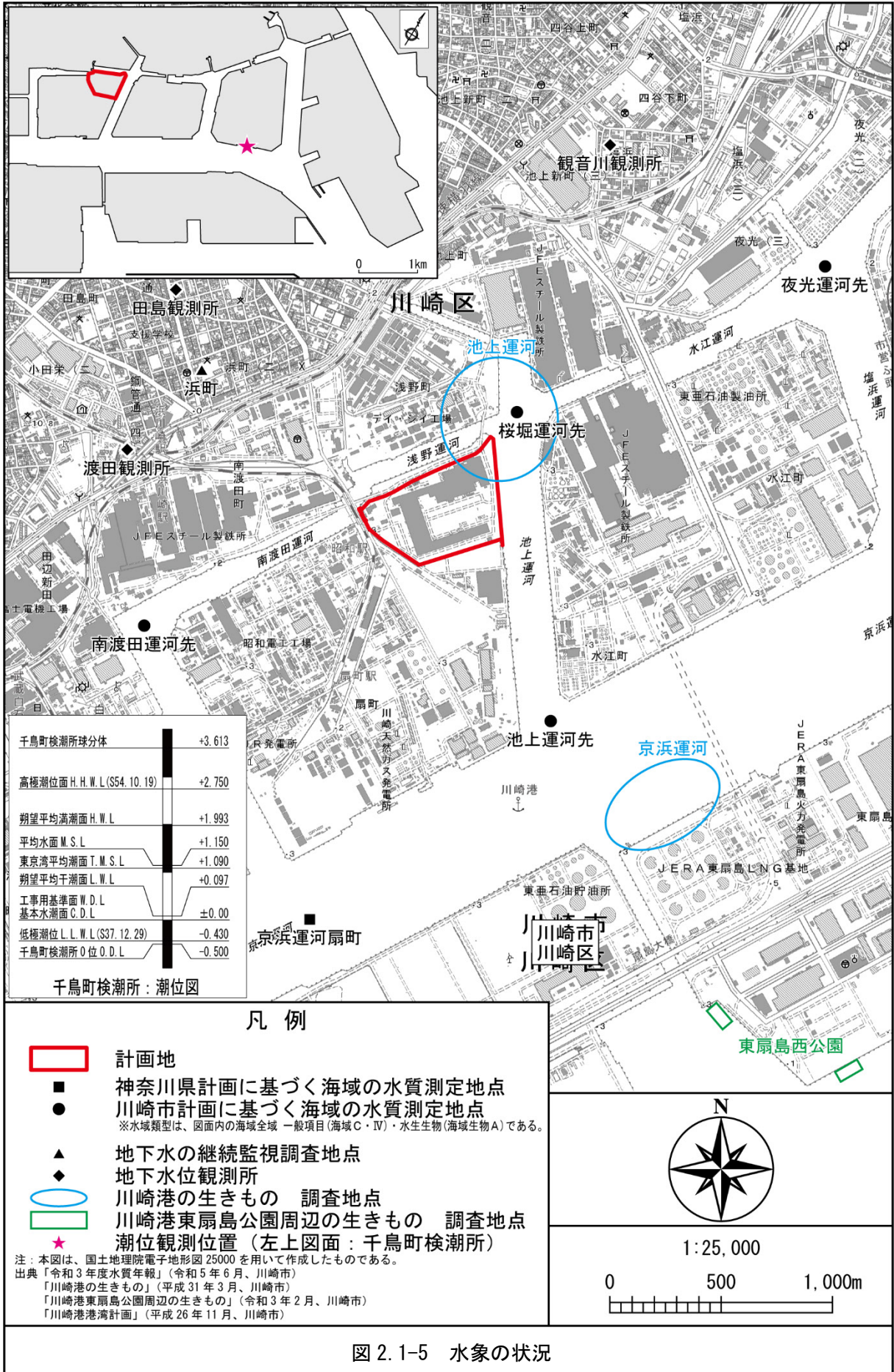


図 2.1-5 水象の状況

2.1.4 植物、動物の状況

計画地は川崎臨海部の扇町地区にあり周囲を運河に囲まれている。現在の計画地は倉庫が立地（本事業の着手時は更地）しており、計画地の西側、南側の敷地境界付近は緑地となっているが、動物の主要な生息環境になっていない。

計画地の北側に浅野町緑道、桜堀緑地などがある。

川崎市では、平成 27 年度から平成 30 年度にかけて、川崎港の海の中に住む魚や貝などの生きものの調査を行われており、池上運河及び京浜運河で確認された生きものは、表 2.1-3 に示すとおりである。（各調査地点の位置は、図 2.1-5 (p. 49) 参照）。

また、令和元年度の冬季と令和 2 年度の夏季に東扇島西公園周辺の海において潜水調査が行われており、東扇島西公園周辺の海において確認された植物及び動物は、表 2.1-4 に示すとおりである。（調査地点の位置は、図 2.1-5 (p. 49) 参照）。

農地の状況は、「国土情報ウェブマッピングシステム」（令和 5 年 8 月閲覧、国土交通省 HP）において計画地周辺に農地は確認できない。

表 2.1-3(1) 池上運河及び京浜運河で確認された生きもの

| 門名 | 科名 | 和名 | 池上運河 | 京浜運河 |
|------|-------------|--------------|------|------|
| 海綿動物 | — | 海綿動物門 | ○ | ○ |
| 刺胞動物 | — | ヒドロ虫綱 | ○ | ○ |
| | ミズクラゲ | ミズクラゲ | | ○ |
| | ウミサボテン | ウミサボテン | | ○ |
| | — | ウミエラ目 | | ○ |
| | ハナギンチャク | ムラサキハナギンチャク | | ○ |
| | ウメボシイソギンチャク | ウメボシイソギンチャク科 | | ○ |
| | タテジマイソギンチャク | タテジマイソギンチャク | ○ | ○ |
| | — | イソギンチャク目 | ○ | ○ |
| 軟体動物 | バテイラ | コシダカガンガラ | | ○ |
| | カリバガサガイ | シマメノウフネガイ | ○ | ○ |
| | ムシロガイ | アラムシロガイ | ○ | |
| | アッキガイ | アカニシ | ○ | ○ |
| | | レイシガイ | ○ | ○ |
| | | イボニシ | ○ | ○ |
| | クロシタナシウミウシ | クロシタナシウミウシ | ○ | ○ |
| | — | 側鰓亜目 | | ○ |
| | アメフラシ | トゲアメフラシ | ○ | |
| | フネガイ | サルボウガイ | | ○ |
| | | フネガイ科 | ○ | ○ |
| | イガイ | ホトトギスガイ | | ○ |
| | | ムラサキイガイ | ○ | ○ |
| | | ミドリイガイ | ○ | ○ |
| | イタボガキ | マガキ | ○ | ○ |
| | ハボウキガイ | タイラギ | | ○ |
| | ナミマガシワ | ナミマガシワガイ | | ○ |
| | マルスダレガイ | ホンビノスガイ | ○ | ○ |
| | | アサリ | ○ | ○ |
| | オオノガイ | オオノガイ | | ○ |

出典：「川崎港の生きもの」（平成 31 年 3 月、川崎市）

表 2. 1-3 (2) 池上運河及び京浜運河で確認された生きもの

| 門名 | 科名 | 和名 | 池上運河 | 京浜運河 | |
|---------|----------|-----------|------|------|---|
| 環形動物 | ミズヒキゴカイ | ミズヒキゴカイ科 | ○ | ○ | |
| | ケヤリムシ | ケヤリムシ科 | ○ | ○ | |
| | カンザシゴカイ | カンザシゴカイ科 | ○ | ○ | |
| 節足動物 | フジツボ | タテジマフジツボ | ○ | | |
| | | アメリカフジツボ | ○ | ○ | |
| | | ヨーロッパフジツボ | ○ | ○ | |
| | | サンカクフジツボ | ○ | ○ | |
| | ワタリガニ | イシガニ | ○ | ○ | |
| 苔虫動物 | — | 裸喉綱 | ○ | ○ | |
| 棘皮動物 | イトマキヒトデ | イトマキヒトデ | ○ | ○ | |
| | キヒトデ | キヒトデ | | ○ | |
| | モミジガイ | トゲモミジガイ | | ○ | |
| | | モミジガイ | | ○ | |
| | スナヒトデ | スナヒトデ | | ○ | |
| | キンコ | キンコ科 | | ○ | |
| | シカクナマコ | マナマコ | ○ | ○ | |
| サンショウウニ | サンショウウニ科 | | ○ | | |
| 脊索動物 | ユウレイボヤ | ユウレイボヤ属 | ○ | ○ | |
| | シロボヤ | エボヤ | ○ | ○ | |
| | | シロボヤ | ○ | ○ | |
| | | シロボヤ属 | ○ | ○ | |
| — | ホヤ綱(群体性) | ○ | ○ | | |
| 脊椎動物 | アカエイ | アカエイ | | ○ | |
| | ボラ | ボラ科 | | ○ | |
| | メバル | メバル類 | ○ | ○ | |
| | | メバル属 | ○ | ○ | |
| | コチ | マゴチ | | ○ | |
| | スズキ | スズキ | | ○ | |
| | タイ | クロダイ | ○ | ○ | |
| | タカノハダイ | タカノハダイ | ○ | | |
| | ウミタナゴ | ウミタナゴ | ○ | ○ | |
| | メジナ | メジナ | ○ | | |
| | アイナメ | アイナメ | ○ | ○ | |
| | タウエガジ | ダイナンギンボ | ○ | | |
| | イソギンボ | イソギンボ科 | ○ | | |
| | ネズッコ | ネズッコ科 | | ○ | |
| | ハゼ | サビハゼ | | | ○ |
| | | シモフリシマハゼ | ○ | ○ | |
| | | チチブ属 | ○ | | |
| | | キララハゼ属 | ○ | ○ | |
| | | ハゼ科 | ○ | ○ | |
| | カワハギ | アミメハギ | ○ | ○ | |
| 確認種類数計 | — | — | 47 | 63 | |

出典：「川崎港の生きもの」(平成31年3月、川崎市)

表 2.1-4 東扇島西公園周辺の海において確認された植物及び動物

植物の観察結果

| 門 | 和名 | 令和元年度冬季 | 令和2年度夏季 |
|------|-------------|---------|---------|
| 黄色植物 | 珪藻綱 | ○ | |
| 紅色植物 | イギス目（微小紅藻類） | ○ | |

動物の観察結果

| 門 | 和名 | 令和元年度冬季 | 令和2年度夏季 |
|----------|-------------|---------|---------|
| 海綿動物 | 海綿動物門 | ○ | ○ |
| 刺胞動物 | ヒドロムシ綱 | ○ | ○ |
| | ウミサボテン | ○ | ○ |
| | ウミエラ目 | ○ | ○ |
| | イソギンチャク目 | | ○ |
| | ムラサキハナギンチャク | | ○ |
| 軟体動物 | シマメノウフネガイ | ○ | ○ |
| | ツメタガイ | ○ | |
| | レイシガイ | ○ | |
| | アカニシ | ○ | ○ |
| | ウミフクロウ | ○ | |
| | クロシタナシウミウシ | ○ | |
| | ウミウシ目 | | ○ |
| | コベルトフネガイ | ○ | |
| ヒバリガイ | ○ | | |
| 環形動物 | ミズヒキゴカイ科 | ○ | ○ |
| 節足動物 | サンカクフジツボ | ○ | ○ |
| | ホンヤドカリ科 | ○ | |
| | イッカククモガニ | ○ | |
| | イシガニ | ○ | |
| 触手動物 | コケムシ綱 | ○ | ○ |
| 棘皮動物 | スナヒトデ | | ○ |
| | トゲモミジガイ | | ○ |
| | イトマキヒトデ | ○ | ○ |
| | キヒトデ | ○ | ○ |
| | マナマコ | ○ | |
| 原索動物 | シロボヤ | ○ | ○ |
| | イタボヤ科 | ○ | |
| 脊椎動物門 | アカエイ | ○ | |
| | カサゴ | | ○ |
| | メバル属 | ○ | |
| | スズキ | | ○ |
| | クロイシモチ | ○ | ○ |
| | クロダイ | | ○ |
| | シマイサキ | | ○ |
| | メジナ | | ○ |
| | ネズッコ科 | ○ | |
| | ヒメハゼ | ○ | ○ |
| | キララハゼ属 | ○ | ○ |
| アカオビシマハゼ | ○ | ○ | |

出典：「川崎港東扇島公園周辺の生きもの」（令和3年2月、川崎市）

2.1.5 人口、産業の状況

(1) 人口、世帯数等

計画地及びその周辺の属する川崎区及び川崎市全体の人口及び世帯数は表 2.1-5 に、計画地が位置する川崎区扇町の過去 5 年間の人口及び世帯数の推移は図 2.1-6 に示すとおりである。

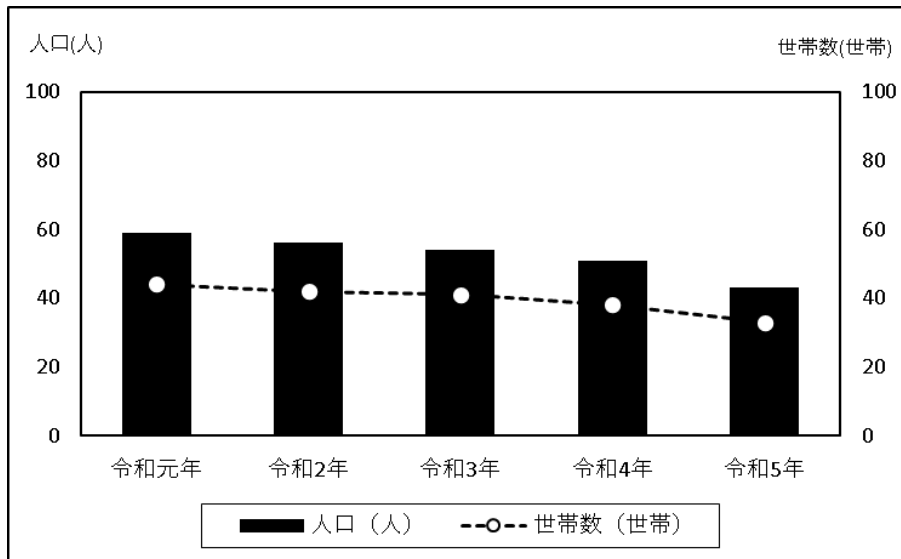
また、計画地周辺の町丁の状況は、図 2.1-7 に示すとおりである。

計画地が位置する川崎区扇町の人口は 43 人、世帯数は 33 世帯(令和 5 年 6 月末日現在)であり、令和元年以降はやや減少傾向である。

表 2.1-5 人口及び世帯数等の状況(令和 5 年 6 月末日現在)

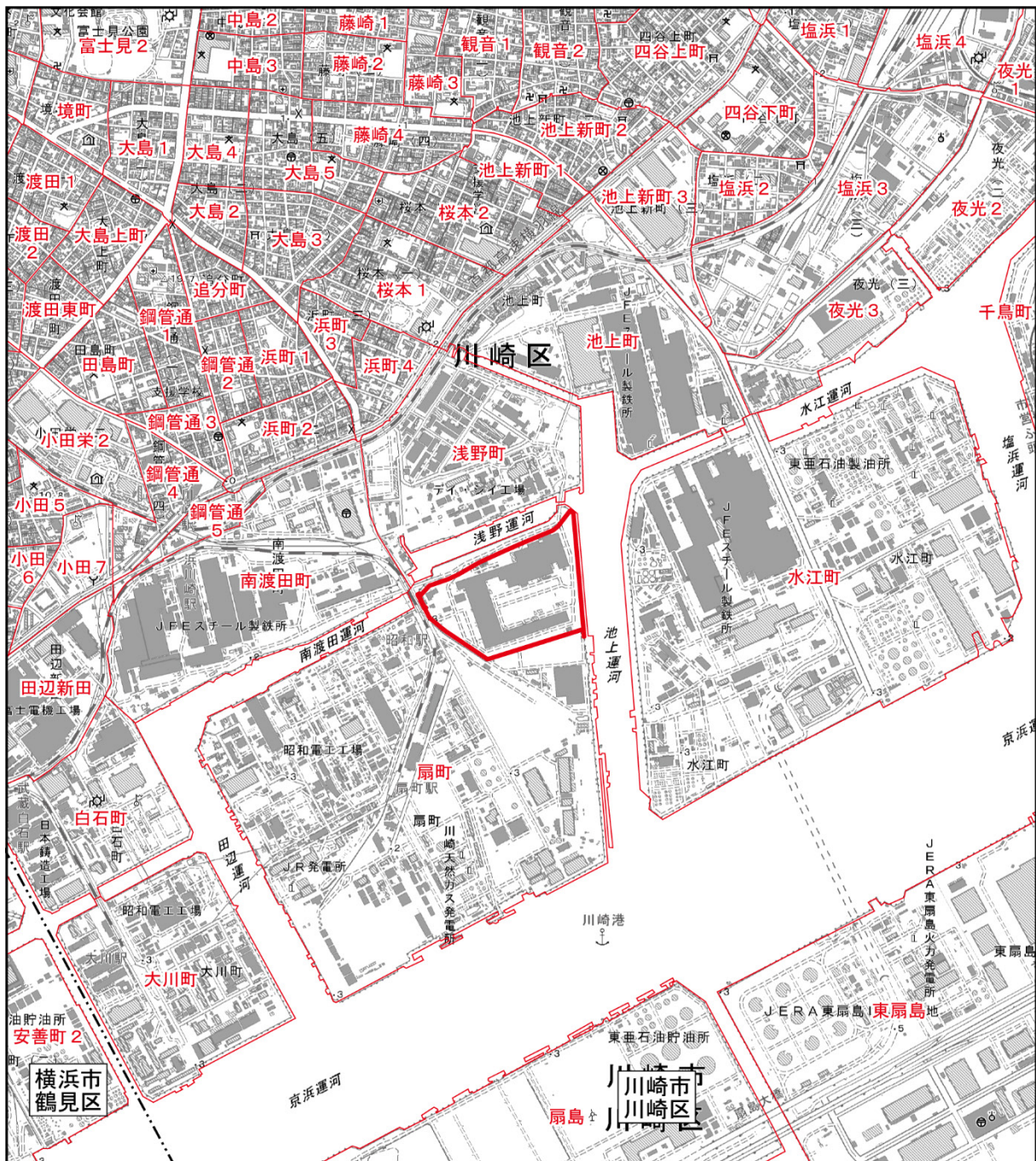
| 対象地域 | | 人口 (人) | 世帯数 (世帯) | 人口密度 (人/km ²) |
|-------|------|-----------|-------------|------------------------------|
| 川崎区 | 扇町 | 43 | 33 | 24 |
| | 南渡田町 | 5 | 3 | 8 |
| | 浅野町 | 3 | 3 | 6 |
| | 水江町 | - | - | - |
| | 池上町 | 695 | 446 | 1,201 |
| 川崎区全体 | | 233,274 | 131,987 | 5,796 |
| 川崎市全体 | | 1,528,918 | 787,030 | 10,592 |

出典：「町丁別世帯数・人口(令和 5 年 6 月現在)」(令和 5 年 7 月更新、川崎市 HP)



出典：「町丁別世帯数・人口」(令和 5 年 9 月閲覧、川崎市 HP)

図 2.1-6 川崎区扇町の人口及び世帯数の推移(各年 6 月末日現在)

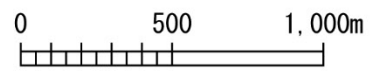


凡例

- 計画地
- 市界
- 町丁界



1:25,000



注：本図は、国土院電子地形図25000を用いて作成したものである。

図 2.1-7 町丁区域図

(2) 産業分類別事業所及び従業者数

計画地の属する川崎区及び川崎市全体の産業分類別事業所数及び従業者数は、表 2.1-6 に示すとおりである。

川崎区における従業者数では、「製造業」が最も多く、次いで「卸売業、小売業」、「運輸業、郵便業」の順となっている。

表 2.1-6 産業分類別事業所数及び従業者数（令和3年6月1日現在）

| 産業大分類 | | 川崎市 | | 川崎区 | |
|-------|-------------------|---------------|-------------|---------------|-------------|
| | | 事業所数 (事業所) | 従業者数 (人) | 事業所数 (事業所) | 従業者数 (人) |
| A～R | 全産業 | 40,524 | 541,350 | 10,186 | 156,366 |
| A、B | 農林漁業 | 72 | 633 | 5 | 77 |
| C | 鉱業、採石業、砂利採取業 | - | - | - | - |
| D | 建設業 | 4,101 | 31,130 | 1,204 | 10,853 |
| E | 製造業 | 2,806 | 70,892 | 802 | 27,760 |
| F | 電気・ガス・熱供給・水道業 | 41 | 716 | 13 | 295 |
| G | 情報通信業 | 926 | 34,418 | 169 | 6,819 |
| H | 運輸業、郵便業 | 1,256 | 35,224 | 778 | 21,629 |
| I | 卸売業、小売業 | 7,971 | 102,975 | 2,041 | 24,939 |
| J | 金融業、保険業 | 462 | 8,034 | 127 | 2,816 |
| K | 不動産業、物品賃貸業 | 4,358 | 16,887 | 835 | 3,463 |
| L | 学術研究、専門・技術サービス業 | 2,153 | 25,079 | 461 | 5,739 |
| M | 宿泊業、飲食サービス業 | 4,604 | 47,580 | 1,296 | 12,099 |
| N | 生活関連サービス業、娯楽業 | 3,141 | 17,984 | 689 | 4,496 |
| O | 教育、学習支援業 | 1,485 | 21,151 | 215 | 2,795 |
| P | 医療、福祉 | 4,774 | 84,798 | 769 | 14,329 |
| Q | 複合サービス事業 | 144 | 3,435 | 34 | 1,513 |
| R | サービス業（他に分類されないもの） | 2,230 | 40,414 | 748 | 16,744 |

注：「-」は該当数字がないもの。

出典：「川崎市の経済 ―令和3年経済センサス活動調査結果（速報）―」（令和4年8月更新、川崎市HP）

2.1.6 土地利用の状況

(1) 用途地域の指定状況

計画地の土地利用規制状況は表 2.1-7 に、計画地及びその周辺における用途地域の指定状況は図 2.1-8 に示すとおりである。

計画地は、工業専用地域に指定されている。

表 2.1-7 計画地の土地利用規制状況

| 区分 | 規制状況 |
|--------|--------|
| 都市計画区域 | 市街化区域 |
| 用途地域 | 工業専用地域 |
| 建ぺい率 | 60% |
| 容積率 | 200% |

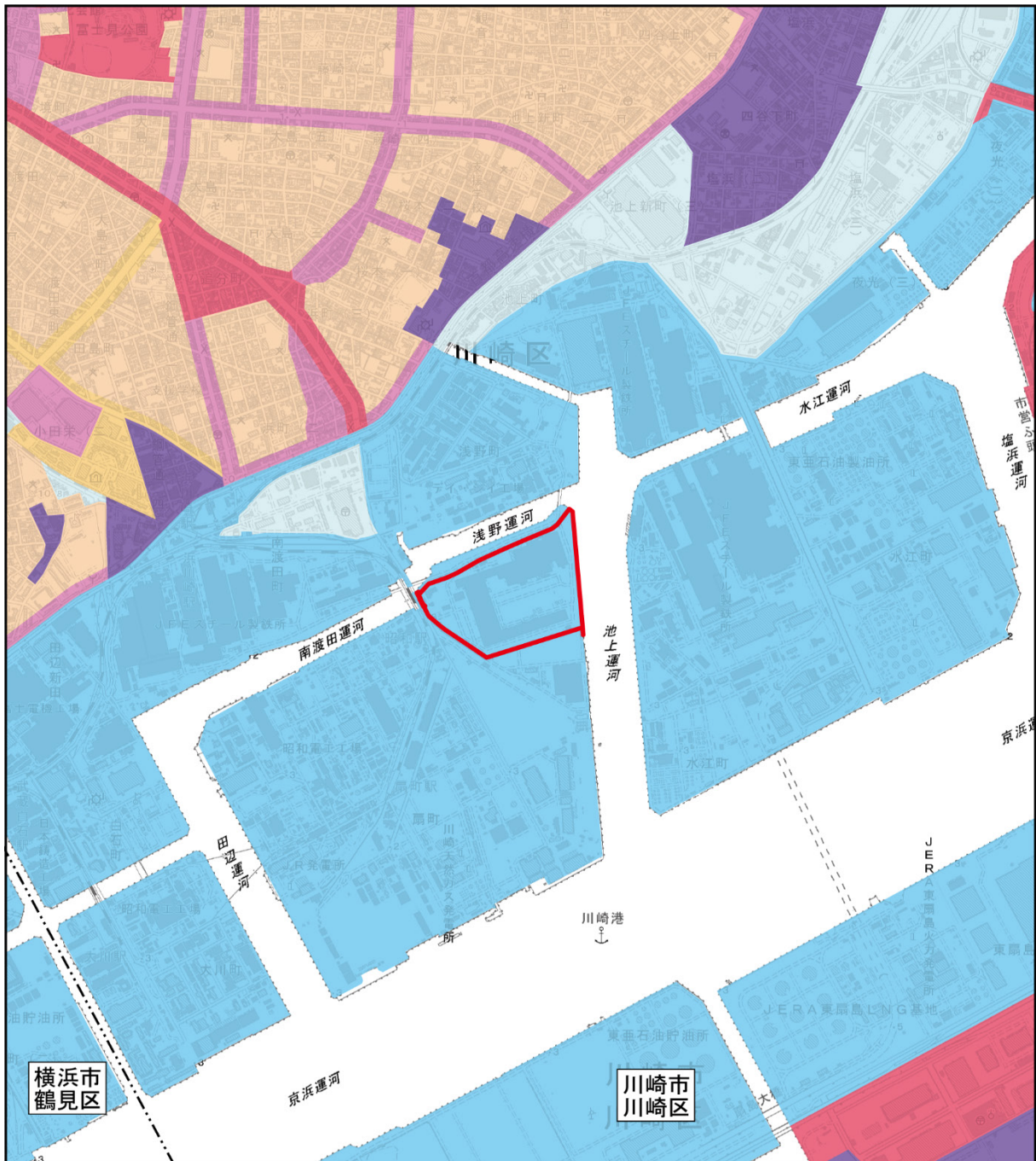
出典：「ガイドマップかわさき」（令和 5 年 9 月閲覧、川崎市 HP）

(2) 土地利用の状況

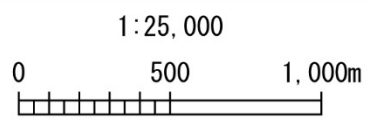
計画地及びその周辺における土地利用の状況は、図 2.1-9 に示すとおりである。

計画地及び周辺は、重化学工業用地、供給処理施設用地、業務施設用地、運輸施設用地等で構成されている。

計画地の現況写真撮影位置は図 2.1-10 に、現況写真は写真 2.1-1 に示すとおりである。



- 凡 例**
- 計画地
 - 市界
 - 第二種住居地域
 - 準住居地域
 - 近隣商業地域
 - 商業地域
 - 準工業地域
 - 工業地域
 - 工業専用地域



注：本図は、国土地理院電子地形図 25000 を用いて作成したものである。
 出典「国土数値情報ダウンロード 用途地域」(令和5年9月閲覧、国土交通省HP)

図 2.1-8 用途地域図

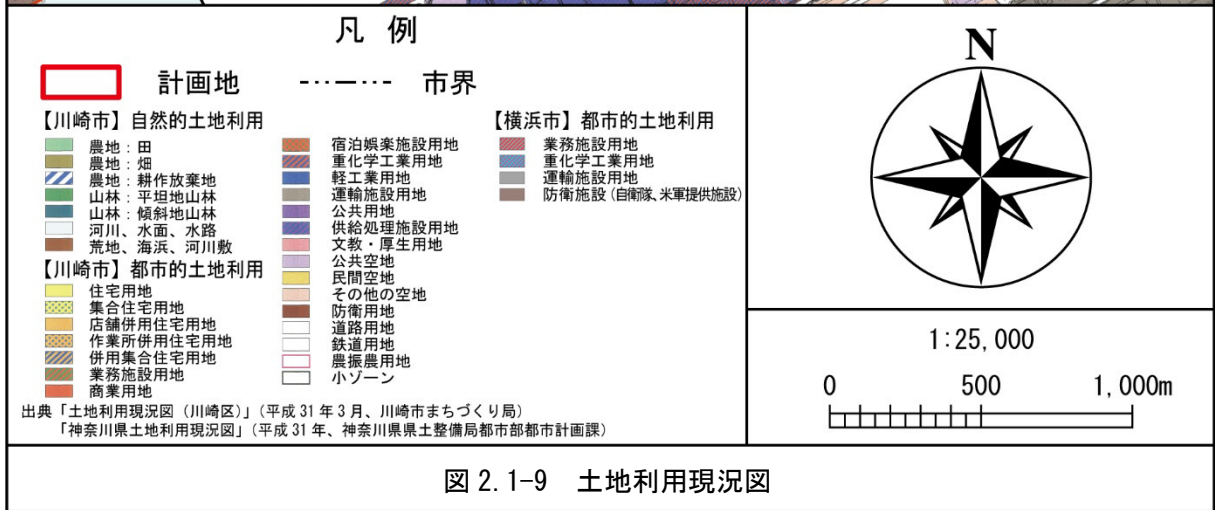
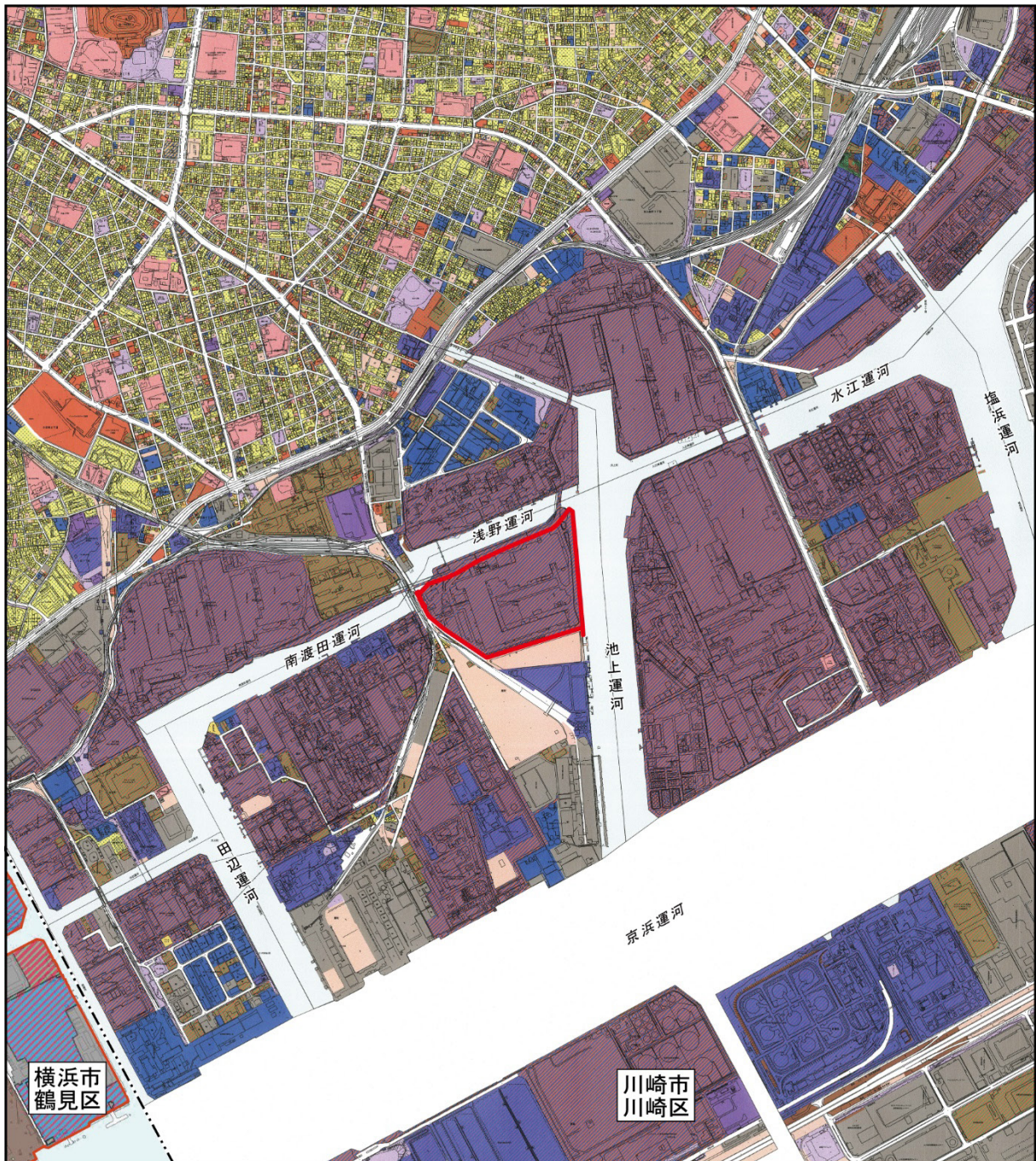


図 2.1-9 土地利用現況図

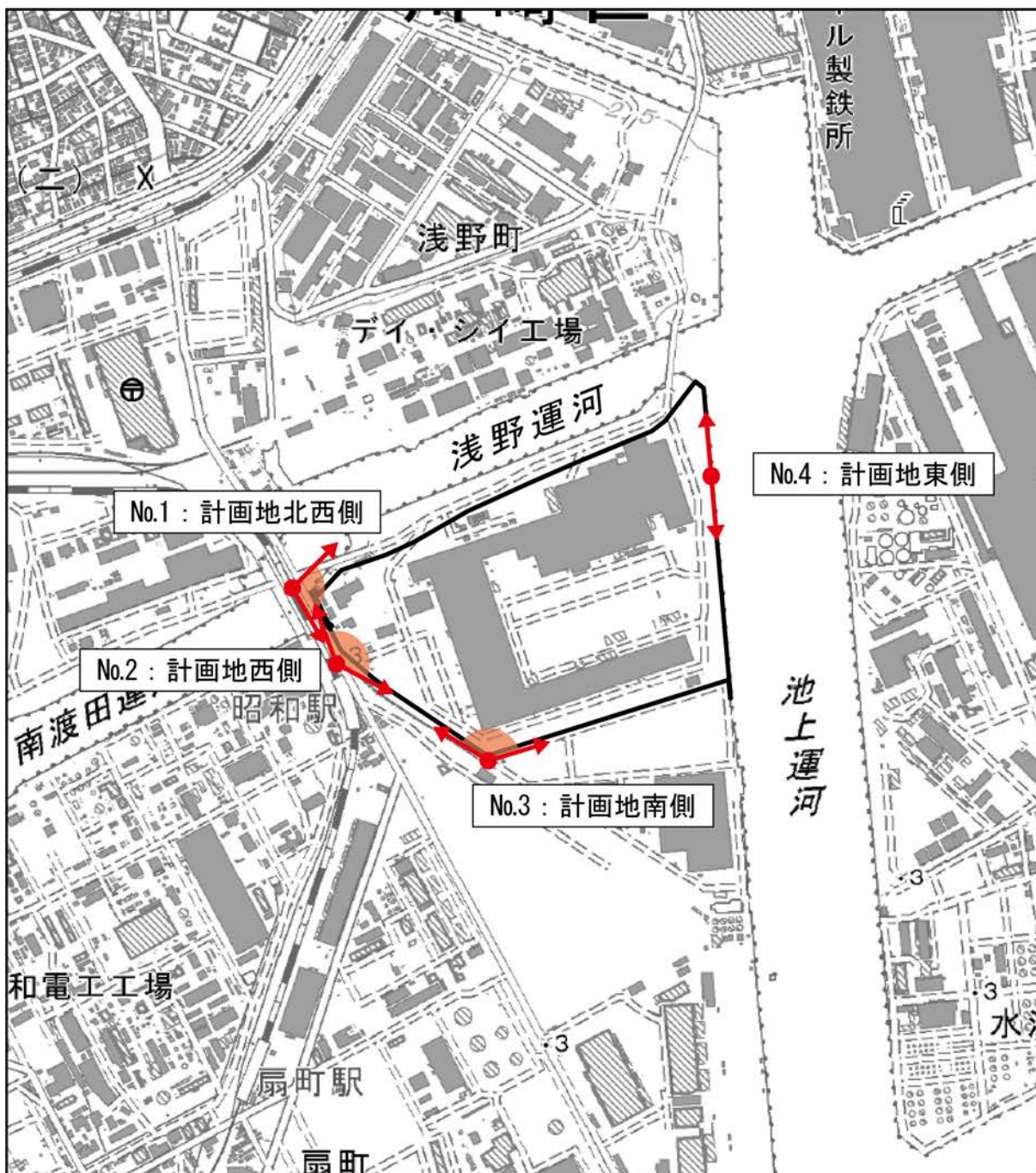


図 2.1-10 現況写真撮影位置



No. 1 計画地北西側



No. 2 計画地西側



No. 3 計画地南側



No. 4 (1) 計画地東側より北方面



No. 4 (2) 計画地東側より南方面

写真 2. 1-1 計画地及び周辺の現況写真